

2022年度スキルアップ研修 B / オンライン研修

ソーシャルワーカーに必要な



トラウマインフォームドケア(TIC)の視点を学ぶ

皆さんは「トラウマインフォームドケア」という言葉を耳にしたことはありますか？ トラウマを抱えている、もしくは抱えていると思われる人に対しては、トラウマの影響を十分に理解して、配慮あるかかわりをするのが望まれます。このような対応を、トラウマインフォームドケア(以下、TIC)といいます。

私たち精神保健福祉士が日々出会うクライアントのなかには、なんらかのトラウマを抱えている人が多くいるはずですが、しかし、トラウマは見えづらいため、私たちは気づかないうちに相手のトラウマに踏み込んでしまっているかもしれません。なお本研修では、トラウマとなる体験を虐待や暴力、自然災害等に限らず、社会的疎外や強制医療に伴う体験、重い病気やケガ、いじめなども含めて広くとらえます。

今回は TIC の入門編とし、トラウマの概念や影響、かかわり方と精神保健福祉士が TIC の知識を身につける意義について学びます。講義だけではなく、様々な事例やグループワークを通して、参加者同士が意見を出し合い、相互研鑽できる時間も設けています。

日々のクライアントとのかかわりを振り返りながら、安全で安心なかかわりが提供できているか再確認してみましょう。ぜひご参加ください。

～開催概要～

お お お か ゆ う か

【講師】 **大岡 由佳氏**

(武庫川女子大学 心理・人間関係学科 准教授)

【日時】 2023年 1月28日(土) 13:30～17:00

【受講料】 東京精神保健福祉士協会 会員 : 2,000円

東京精神保健福祉士協会 非会員 : 3,500円

【定員】 30名 ※申し込み順、定員になり次第締め切らせていただきます

【対象】 精神保健福祉士として、現に実践を行っている方

※スキルアップ研修Bは、支援に関する様々なアプローチ方法を学ぶ研修です



【講師紹介】大岡 由佳氏（武庫川女子大学 心理・人間関係学科 准教授）

医療機関にてソーシャルワーカーとして勤務。2008 年帝塚山大学心理福祉学部の助手、講師を経て、2010 年武庫川女子大学に着任し、現在に至る。2016 年に現場と専門職集団により団体「くらしえん」設立。『はじめて担当になったあなたへ＜行政職員編(第一版)＞』監修、『犯罪被害を受けた子どものための支援ガイド』監訳。

警察庁・交通事故被害者サポート事業検討会委員、兵庫県・地域安全まちづくり審議会委員等を務めている。性暴力被害者支援センター・ひようご理事、昨年度より TICC(トラウマインフォームドケア & コミュニティ) 共同代表理事。博士(保健福祉学)・精神保健福祉士、社会福祉士。

【申込方法】 右の QR コードもしくは、



下記の URL にアクセスして申し込みを行ってください

<https://ws.formzu.net/dist/S18274305/>

【申込締切】 2022年 11月27日(日)

受講料事前入金締切: 11月29日(火)

※お申込み後に、受講料事前入金のお知らせがすぐにメールされます。

※入金確認をもって受講確定とします。入金後の返金は致しかねますので、ご了承ください。

※1月中旬頃にメールで研修当日の Zoom の URL や研修資料をお送りします。研修資料はこちらが指定する方法でダウンロードしてご準備ください。資料の郵送はございません。

お申し込みにあたっての重要なお知らせ



- ・本研修は WEB 会議ツール「Zoom ミーティング(Zoom)」によるオンライン研修です。対面での、集合研修ではありませんのでご注意ください。
- ・本研修は講義のほか、Zoom の機能を活用してグループワークを行います。グループワークでは「お顔出し(カメラオン)」での参加が必須となります。
- ・メールアドレスを取得していないパソコンまたはタブレット端末では受講いただけません。
- ・受講にかかる通信料は、受講者負担となります。
- ・WEB ブラウザ経由での受講はいただけません。Zoom アプリのダウンロードが必須となります。
- ・研修当日における受講者側の Zoom 接続不具合や通信トラブル等について、事務局では対応できませんのでご了承ください。

【問い合わせ】 一般社団法人東京精神保健福祉士協会 研修委員会

kensyu@tokyo-psw.com メールにてお問い合わせください